

子ども・子育て支援に関するニーズ調査に関する意見の反映状況

資料1-2

No.	ご意見 (各設問番号は、第2回の会議資料時点の問番号)	対応(案) (「新問○」は、第3回会議資料時点での問番号)
1	アンケートを書いた後にどのように反映されているのかわかりづらい。どこで公表されているか記載はあるのか。	アンケートの表紙(就学前については別紙A4)に、市ホームページ等で公表することを記載します。
2	「切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れて」を例えれば、「同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに」とした方が正しい日本語ではないか。	ご指摘を踏まえ、文章を見直しました。
3	問20等は、何がどの選択肢なのか。問22も選択肢が最初1、2から10までは横になっていて、途中から突然縦に並んでいる。問24も雑然と選択肢が並んでいる。	新問22を始め、調査票全体にわたって、 ・選択肢は基本的に1段もしくは2段に並べることとし、レイアウトを見直しました。 ・新問22は似たような項目はできるだけまとめ、22の選択肢を16に減らしました。 また、レイアウトの見直しに伴い、一部設問の削除、問の順番の変更を行っています。
4	問4-2をどのように活用するのか。H25は利用するときの目的や理由の設問があったが問4-2にすりかわっている。計画の分析としてどうこれを役に立てようと思っているのか。	0歳児保育のニーズを図るための設問として追加しておりましたが、削除し、新たに就労者の0歳児保育のニーズを図るための設問として新問3-1を追加しました。 また、ご指摘の通り、H25調査を踏襲した設問として、新問5-3を追加しました。
5	子育てについて何を大事にして子育てをしているか保護者は書きたいのではないか。	ご意見のとおり、現在の設問は、子育ての現状や不安、課題をお聞きする内容が主となっております。 保護者の方が子どもにどのように育ててほしいと思っているか、子どもの育ちのために大切にしていることなど、思いをくみ取るような設問を是非取り入れていきたいところではありますが、紙面の都合上取り入れられていない現状です。 そのため、自由回答欄にご記入いただいた保護者の皆さまの思いについて、集計時に集約してまいりたいと考えております。
6	中学生の保護者にもアンケートをとった方がよい。	今回の調査は、就学前保育・教育や子育てサービス、就学後の児童育成クラブ等の今後5年間の量の見込みの参考資料とすることを目的としております。 中学生については、既存の統計資料、過去の調査や関係課へのヒアリング等を活用しながら、施策の検討を進めてまいりたいと考えております。
7	問13について「4利用しない」とあるが、1から3まで全部利用してないのか、それとも1は利用しているけども2と3は利用してないのかとか、この選択肢ではわからない。	ご意見を踏まえ、国の示す設問形式から新問14の形式に変更しました。
8	問22と23は、ともに参加の意向を聞く設問だが、選択肢の程度をそろえるべきである。また、程度にあわせて、選択肢の順序を変更すべきである。	ご意見を踏まえ、新問18、新問19の形式に変更しました。 以下の理由から、選択肢を完全にはそろえておりません。 新問18の「2. 誘われれば参加したい」は「やや参加したい」という表現も考えられますが、「積極的ではないが、参加の意向がある」層の方に選択していただくことを考え、よりわかりやすい表現になるようこの表記にしています。 また、新問19については、「自分の子育ての手が離れたら」という意識をお持ちの方も把握したいと考え、「2. 子どもがもう少し大きくなったら参加したい」を選択肢に入れていきます。また、「担い手側」の意識については、参加のハードルが高く、○が付けにくい方も多いのではないかと思います、「その他」「分からない」を追加させていただきます。
9	地元の園と一緒に通いたい、小さいころから一緒にともに育つていうことはすごく重要なことと思う。近所、地元の子どもたち、地元の園に入園したいという意向のある御家庭がどれくらいいるかの質問があってほしい。	新問6の選択肢に「2. 居住している小学校区」を追加しました。 「地元」の範囲は、この調査では小学校との接続という観点から「小学校区」とさせていただきます。
10	アンケートに回答する家庭は、ゆとりや余裕がある家庭ということになるので、記載しないような家庭の声も拾えるようにしてほしい。	支援をしている方を通しての把握という形にはなりますが、団体ヒアリングについては、アンケートからは拾いにくい少数のご意見、お考えをくみ取ることができるよう、団体の抽出を行ってまいります。
11	人とのかかわりという点で非常に苦しんでいる、悩んでいる方が多く、そうした声がアンケートに表れにくいことに配慮していただきたい。	
12	問26、問13について、知らなかったというのが前の設問にはない。知っているものにマルって言われたときに、数字が並んでるよりも空欄だけで知ってるもののマルのほうがつけやすいのではないか。	新問26など今回は、「空白に○」ではなく、「数字に○」、の形式で対応させていただきます。 集計の都合上、「1～12」のどの項目に○を付けたのかがわかりやすい形式をとらせていただきたいと思っております。 回答内容をできるだけ漏らさず反映させるための形式として、ご理解いただきたいと思っております。
13	自由記述のところを工夫するのはどうか。例えばこのことについて御意見お聞かせくださいみたいな形で、括弧して指定して書いてもらうという手もあるかもしれない。	ご意見を踏まえ、修正させていただきました。
14	問9-1等は、「括弧に数字を記入」と書いてあるが、括弧は要らないのではないか。	新問10など今回は、( )ありの形式で対応させていただきます。 ( )があれば数字を書く、という記号としての役割があることから、現状のままさせていただきます。また、表の中に ( )がある場合、表の幅を広げるなど、できるだけ見やすくなるよう修正させていただきました。

※問番号は就学前調査票について記載しています。